



試験報告書

平成16年6月9日

No.242-04-A-0299

財団法人 化学物質評価研究機構



1. 依頼者 日本システム企画株式会社 殿
2. 受付日 平成16年5月26日
3. 件名 NMRパイプテクトーの安全性評価
4. 試料 NMRパイプテクトー 1点

5. 試験方法

シンチレーションサーベイメーターによる放射性測定

測定条件

測定機：アロカ製 TSC-161

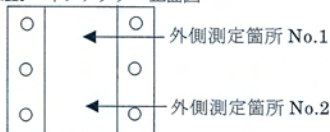
測定方法：試料を内側2ヶ所、外側2ヶ所サーベイメータの検出部に20cmの距離を置き、30秒ごとに10回表示値を読み取り平均とした。試料を置かないバックグランド値も同様に求めた。

NMRパイプテクトー正面図

ガウスメーターによる磁力測定

測定条件

測定機：横河電機製 TYP3251



6. 試験結果

試料測定位置	線量率(μSv/hr)	磁束密度(ガウス)
外側測定箇所 No.1	0.04±0.01	1100
外側測定箇所 No.2	0.04±0.01	1100
内側測定箇所 No.1	0.04±0.01	1000
内側測定箇所 No.2	0.04±0.01	1000

*内側測定箇所 No.1、内側測定箇所 No.2 は外側測定箇所 No.1、外側測定箇所 No.2 の真裏の位置とした。尚、バックグランド値は(0.04±0.01μSv/hr)であった。

- (1) 線量率はバックグランド値と同一レベルにあり、上記測定方法において放射線は発生していないと考えられ、従って、人体に悪影響は無いと考えられる。
- (2) 今回測定した NMR パイプテクトーの磁束密度は、薬事法で規定されている磁気治療器の2000 ガウスを超えないことを満足しており、NMR パイプテクトーの磁性レベルは人体に影響ないと考えられる。

以上

(受付 No.242-04-1-0274,0352)

東京事業所 〒345-0043 埼玉県北葛飾郡杉戸町下高野 1600 番 電話 0480-37-2601(代)

この試験報告書を転載するときは、事前に本機構の承認を受けてください。